

2 まちの現状と今後の取り組みについて

(1) まちの各環境に対する満足度

問4 阿久比町について、現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。



- 評価の最も高い項目は「上水道の整備」。次いで「ごみ処理対策・リサイクル」、「消防・防災対策の充実」の順。
- 評価の最も低い項目は「雇用対策と勤労者福祉の充実」。次いで「情報通信網の整備」及び「商業の振興」の順。

阿久比町の各環境に対する住民の評価について、満足度をたずねた39の設問項目の傾向を、“満足”（「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の合計）、「どちらともいえない」、「不満」（「どちらかといえば不満である」及び「不満である」の合計）の3区分にまとめ、その比率でみていくと、“満足”と回答した率は、「上水道の整備」（53.9%）で最も高く、次いで「ごみ処理対策・リサイクル」（49.4%）、「下水道の整備」（40.5%）、「公共交通機関の便利さ」（37.1%）、「消防・防災対策の充実」（34.6%）などの順となっている。一方、“不満”と回答した率は、「公共交通機関の便利さ」（38.9%）で最も高く、次いで「道路の整備」（36.7%）、「防犯対策の充実」（30.8%）、「情報通信網の整備」（27.7%）、「公園・緑地・グラウンドの整備」（27.4%）などの順であった。

さらに、加重平均値【※後述参照】による評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）による分析を行った。

この結果、評価点の最も高い項目は「上水道の整備」（2.82点）となっており、次いで第2位が「ごみ処理対策・リサイクル」（2.39点）、第3位が「消防・防災対策の充実」（1.69点）と続き、以下、「下水道の整備」（1.12点）、「地域間交流・国際交流の推進」（0.98点）などの順となっている。一方、評価点の低い方からみると、「雇用対策と勤労者福祉の充実」（-1.26点）が最も低く、次いで第2位が「情報通信網の整備」及び「商業の振興」（同点-1.19点）と続き、以下、「社会保障の充実」（-1.11点）、「工業の振興」（-0.98点）などとなっており、評価がプラス点の項目は21項目、中間点が1項目、マイナス点の項目は17項目となっている。【図表7～13参照】

東部小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「ごみ処理対策・リサイクル」(2.59点)、第2位が「上水道の整備」(2.35点)、第3位が「消防・防災対策の充実」(1.79点)の順。一方、下位3項目は第1位が「雇用対策と勤労者福祉の充実」(-1.68点)、第2位が「社会保障の充実」(-1.65点)、第3位が「商業の振興」(-1.56点)の順。

設定した39項目のうちプラス評価の項目は23項目、マイナス評価の項目は16項目となっている。

英比小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「上水道の整備」(3.02点)、第2位が「ごみ処理対策・リサイクル」(2.25点)、第3位が「消防・防災対策の充実」(1.31点)の順。一方、下位3項目は第1位が「社会保障の充実」(-1.28点)、第2位が「情報通信網の整備」(-1.22点)、第3位が「雇用対策と勤労者福祉の充実」(-1.16点)の順。

設定した39項目のうちプラス評価の項目は16項目、マイナス評価の項目は23項目となっている。

草木小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「ごみ処理対策・リサイクル」(2.14点)、第2位が「消防・防災対策の充実」(1.71点)、第3位が「上水道の整備」(1.44点)の順。一方、下位3項目は第1位が「公共交通機関の便利さ」(-5.69点)、第2位が「下水道の整備」(-1.92点)、第3位が「情報通信網の整備」(-1.63点)の順。

設定した39項目のうちプラス評価の項目は18項目、マイナス評価の項目は21項目となっている。

南部小学校区

満足度の上位3項目は第1位が「上水道の整備」(3.66点)、第2位が「ごみ処理対策・リサイクル」(2.62点)、第3位が「消防・防災対策の充実」(2.28点)の順。一方、下位3項目は第1位が「商業の振興」(-1.21点)、第2位が「雇用対策と勤労者福祉の充実」(-1.11点)、第3位が「道路の整備」(-1.04点)の順。

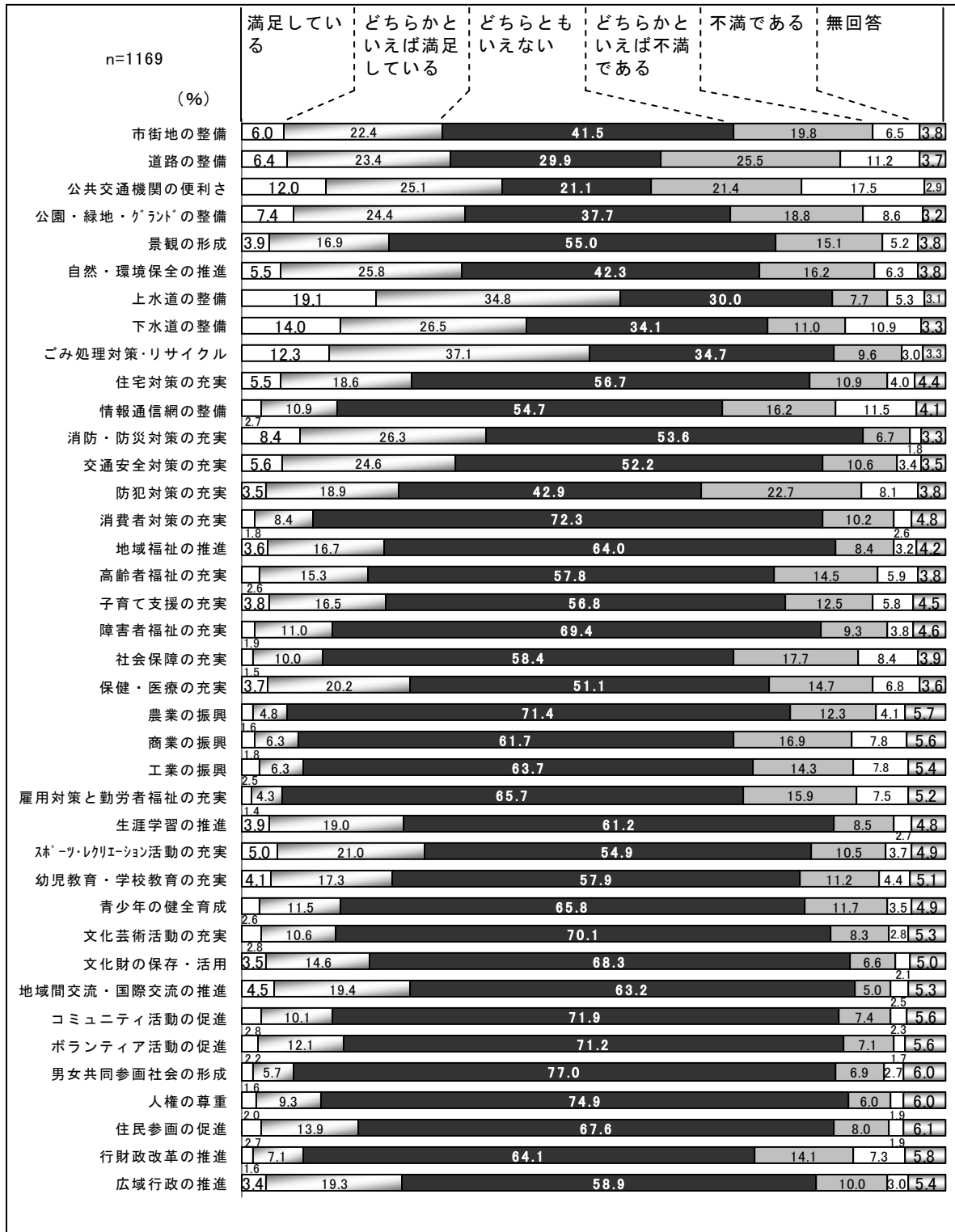
設定した39項目のうちプラス評価の項目は29項目、中間点が1項目、マイナス評価の項目は9項目となっている。

※評価点（加重平均値）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「どちらかといえ} \\ \text{ば満足している」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえ} \\ \text{ない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえ} \\ \text{ば不満である」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満である」} \\ \text{の回答者数} \end{array} \right]}$$

図表7 まちの各環境に対する満足度(全体/%)



図表8 まちの各環境に対する満足度(全体/%)

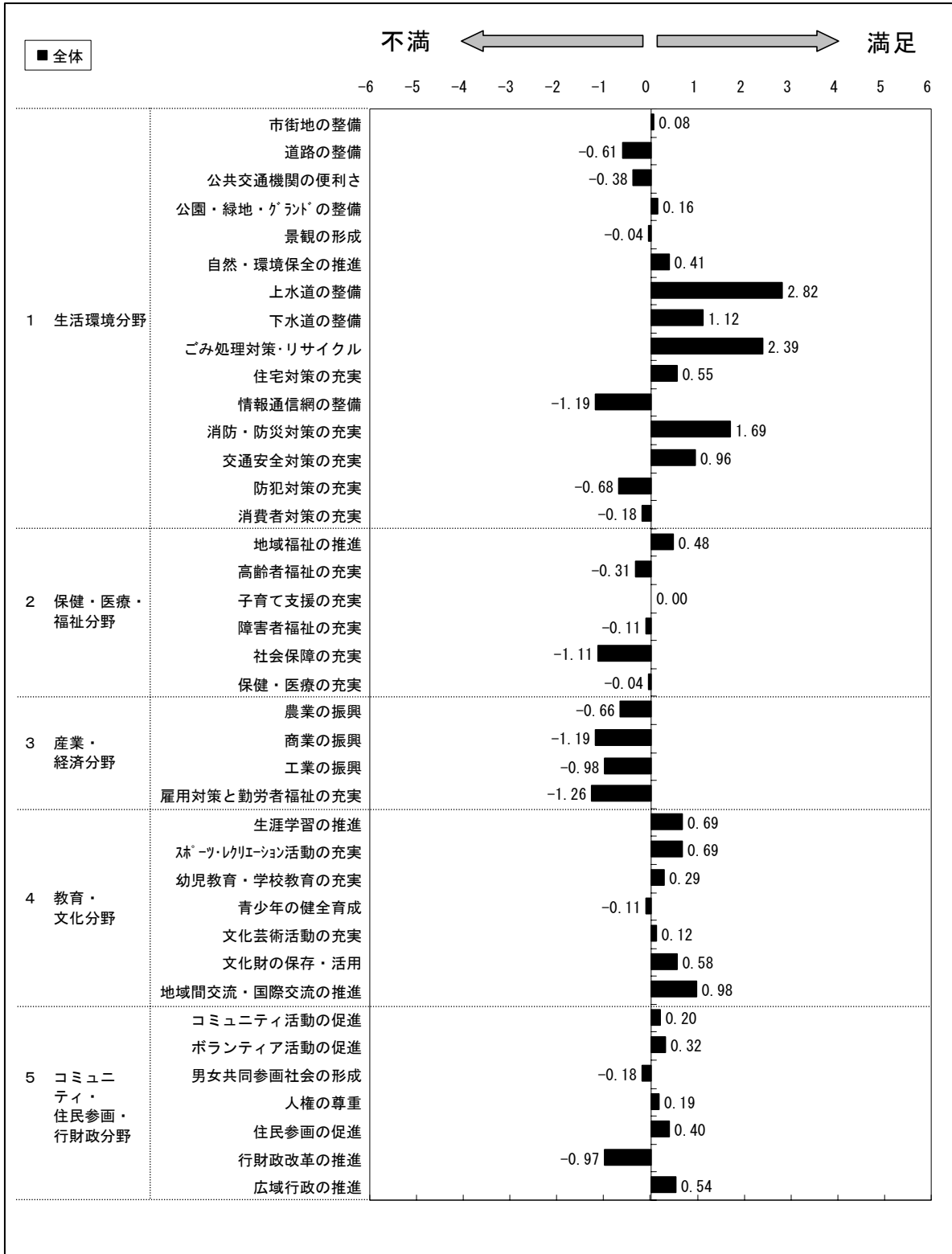
	“満足”	どちらとも いえない	“不満”
(1) 市街地の整備	28.4	41.5	26.3
(2) 道路の整備	29.8	29.9	②36.7
(3) 公共交通機関の便利さ	④37.1	21.1	①38.9
(4) 公園・緑地・グラウンドの整備	31.8	37.7	⑤27.4
(5) 景観の形成	20.8	55.0	20.3
(6) 自然・環境保全の推進	31.3	42.3	22.5
(7) 上水道の整備	①53.9	30.0	13.0
(8) 下水道の整備	③40.5	34.1	22.0
(9) ごみ処理対策・リサイクル	②49.4	34.7	12.6
(10) 住宅対策の充実	24.1	56.7	14.9
(11) 情報通信網の整備	13.6	54.7	④27.6
(12) 消防・防災対策の充実	⑤34.7	53.6	8.5
(13) 交通安全対策の充実	30.2	52.2	14.0
(14) 防犯対策の充実	22.4	42.9	③30.8
(15) 消費者対策の充実	10.2	72.3	12.7
(16) 地域福祉の推進	20.3	64.0	11.5
(17) 高齢者福祉の充実	17.9	57.8	20.4
(18) 子育て支援の充実	20.3	56.8	18.3
(19) 障害者福祉の充実	12.9	69.4	13.1
(20) 社会保障の充実	11.5	58.4	26.1
(21) 保健・医療の充実	23.9	51.1	21.5
(22) 農業の振興	6.4	71.4	16.4
(23) 商業の振興	8.1	61.7	24.6
(24) 工業の振興	8.8	63.7	22.1
(25) 雇用対策と勤労者福祉の充実	5.7	65.7	23.4
(26) 生涯学習の推進	22.9	61.2	11.1
(27) スポーツ・レクリエーション活動の充実	26.0	54.9	14.2
(28) 幼児教育・学校教育の充実	21.4	57.9	15.6
(29) 青少年の健全育成	14.1	65.8	15.2
(30) 文化芸術活動の充実	13.4	70.1	11.1
(31) 文化財の保存・活用	18.1	68.3	8.6
(32) 地域間交流・国際交流の推進	23.9	63.2	7.5
(33) コミュニティ活動の促進	12.9	71.9	9.7
(34) ボランティア活動の促進	14.3	71.2	8.8
(35) 男女共同参画社会の形成	7.3	77.0	9.7
(36) 人権の尊重	11.3	74.9	7.9
(37) 住民参画の促進	16.6	67.6	9.8
(38) 行財政改革の推進	8.7	64.1	21.4
(39) 広域行政の推進	22.7	58.9	13.0

※丸数字は上位項目の順位。無回答は除く。

図表9 まちの各環境に対する満足度(全体/評価点)

全体

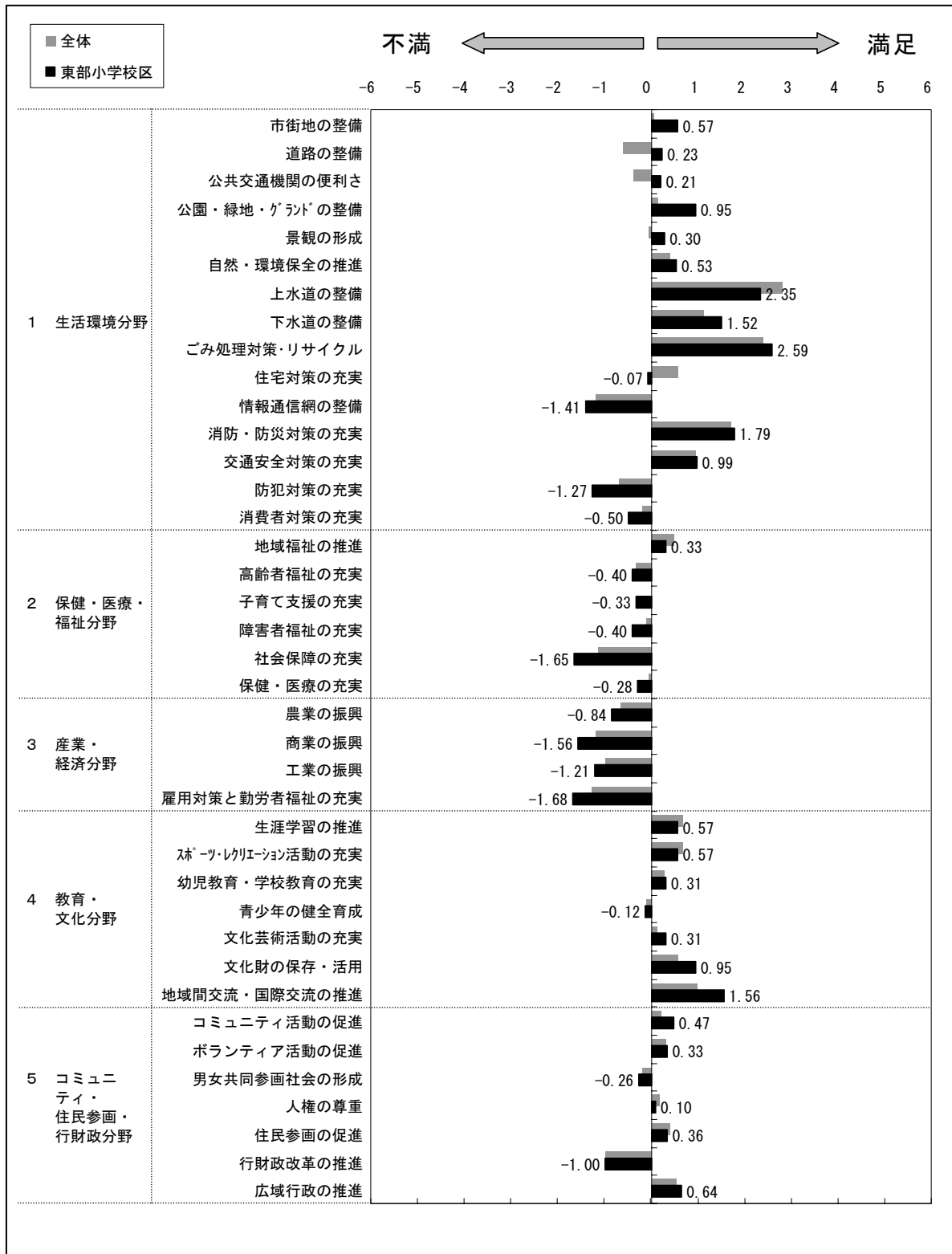
(単位：評価点)



図表 10 まちの各環境に対する満足度(東部小学校区/評価点)

東部小学校区

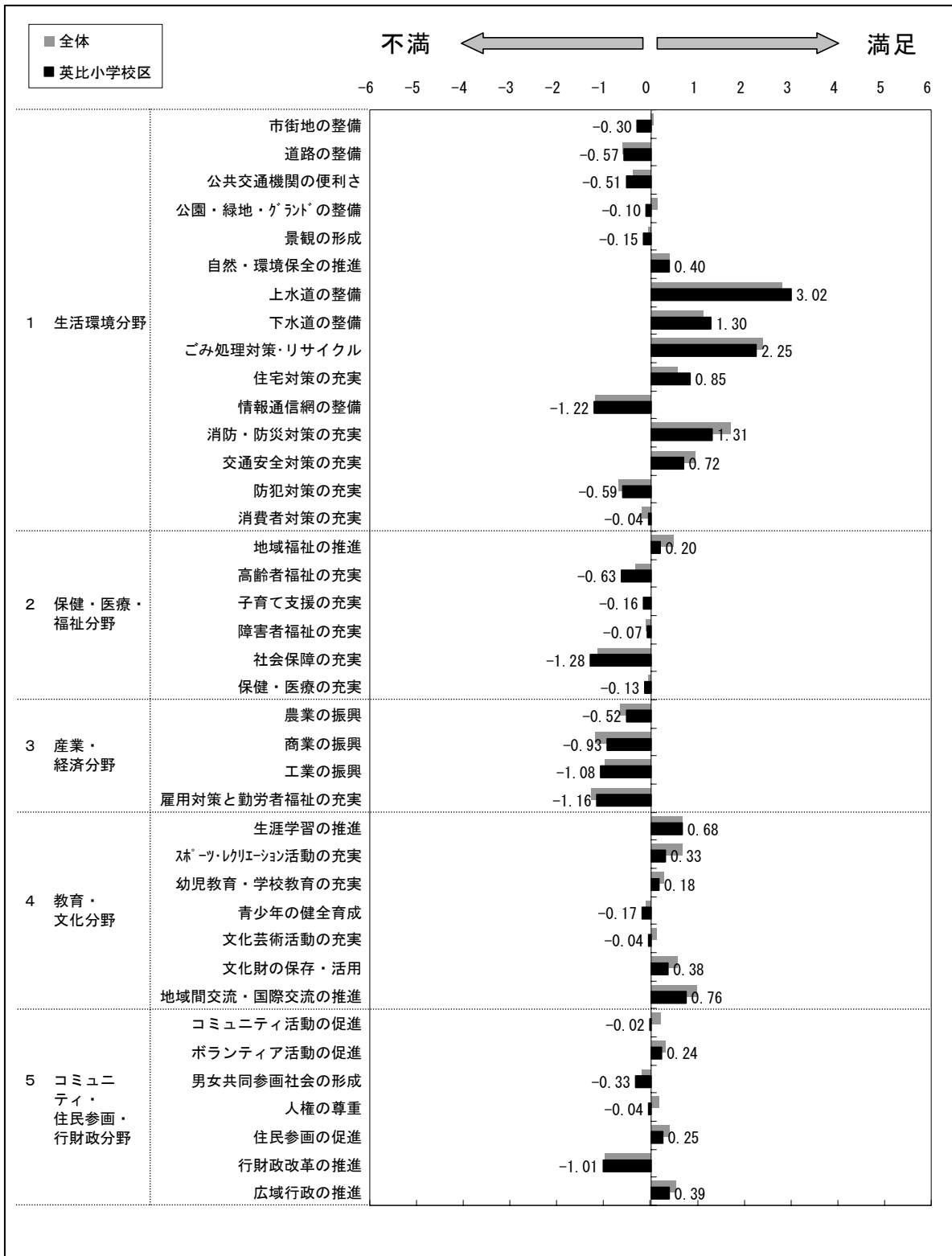
(単位：評価点)



図表 11 まちの各環境に対する満足度(英比小学校区／評価点)

英比小学校区

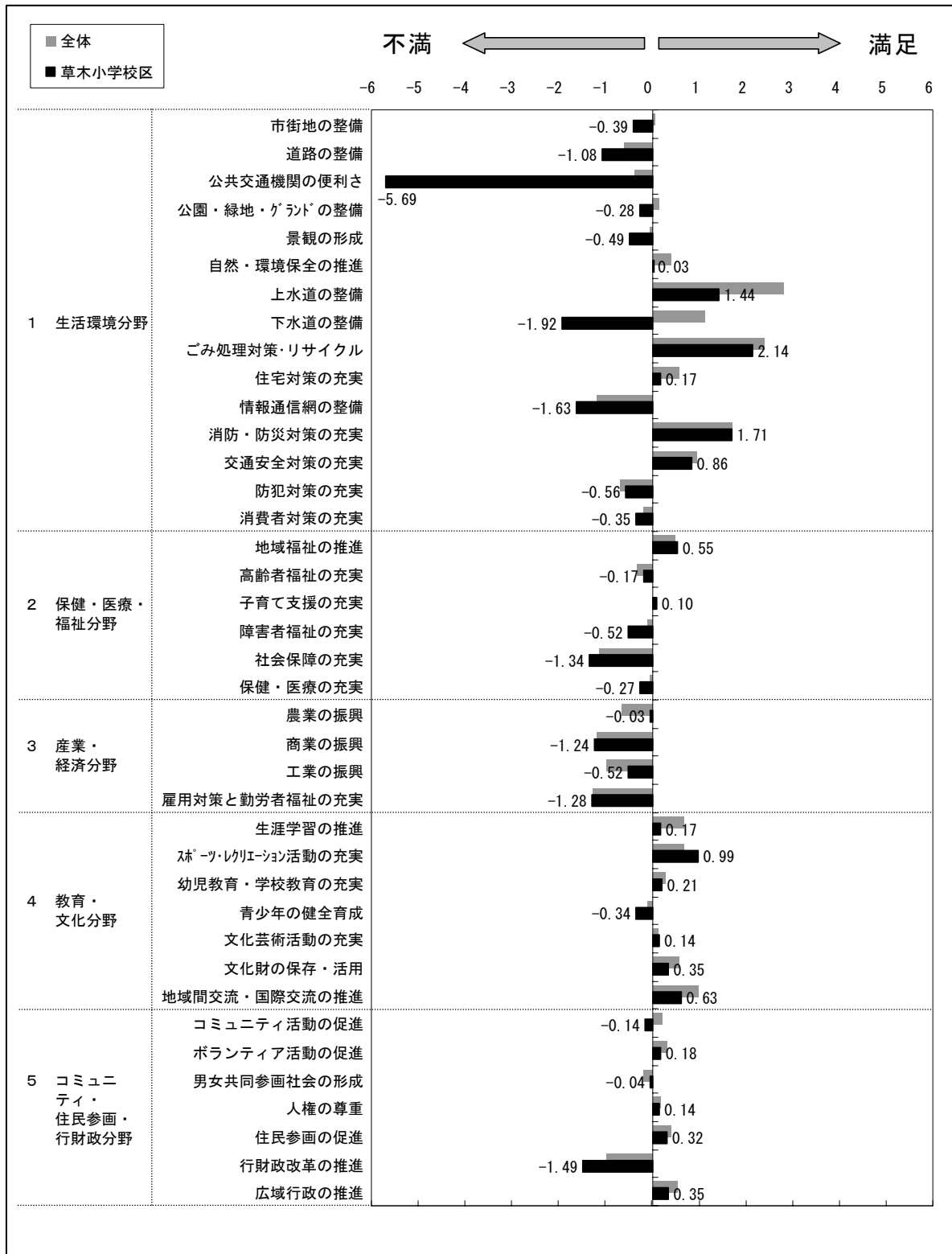
(単位：評価点)



図表 12 まちの各環境に対する満足度(草木小学校区／評価点)

草木小学校区

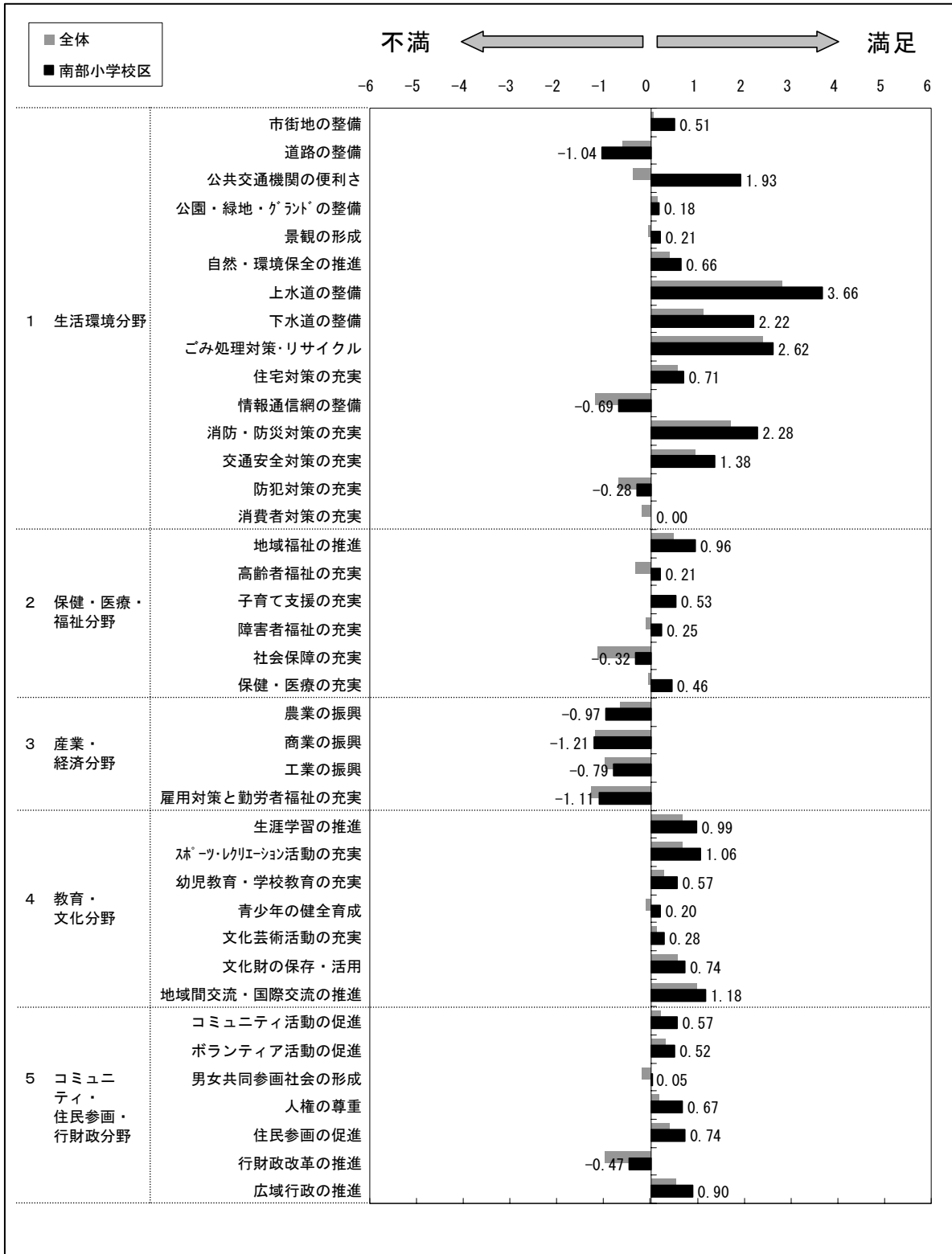
(単位：評価点)



図表 13 まちの各環境に対する満足度(南部小学校区／評価点)

南部小学校区

(単位：評価点)



(2) まちの各環境に対する重要度

- 重要度の最も高い項目は「防犯対策の充実」が第1位。次いで「保健・医療の充実」、「ごみ処理対策・リサイクル」、「公共交通機関の便利さ」、「消防・防災対策の充実」などの順。

阿久比町の各環境に対する住民の重要度について、重要度をたずねた39の設問項目の傾向を、“重要である”(「重視している」及び「どちらかといえば重視している」の合計)、「どちらともいえない」、「重要でない」(「どちらかといえば重視していない」及び「重視していない」の合計)の3区分にまとめ、その比率でみていくと、“重要である”の比率が高い項目としては、「防犯対策の充実」(71.3%)が第1位に挙げられ、次いで第2位が「公共交通機関の便利さ」(66.9%)、第3位が「ごみ処理対策・リサイクル」(65.7%)と続き、以下、「保健・医療の充実」(64.2%)、「自然・環境保全の推進」(62.3%)などの順となっている。

さらに、加重平均値【後述参照】による評価点(重要度：最高点10点、最低点-10点)による結果をみると、重要度の最も高い項目は、「防犯対策の充実」(5.50点)が第1位に挙げられ、次いで「保健・医療の充実」(4.79点)、「ごみ処理対策・リサイクル」(4.60点)が続き、以下、「公共交通機関の便利さ」(4.51点)、「消防・防災対策の充実」(4.36点)の順となっている。【図表14~20参照】

東部小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「防犯対策の充実」(5.50点)、第2位が「保健・医療の充実」(4.86点)、第3位が「消防・防災対策の充実」(4.74点)の順となっている。

英比小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「防犯対策の充実」(5.68点)、第2位が「ごみ処理対策・リサイクル」(5.07点)、第3位が「保健・医療の充実」(4.78点)の順となっている。

草木小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「公共交通機関の便利さ」(4.76点)、第2位が「防犯対策の充実」(4.58点)、第3位が「保健・医療の充実」(3.97点)の順となっている。

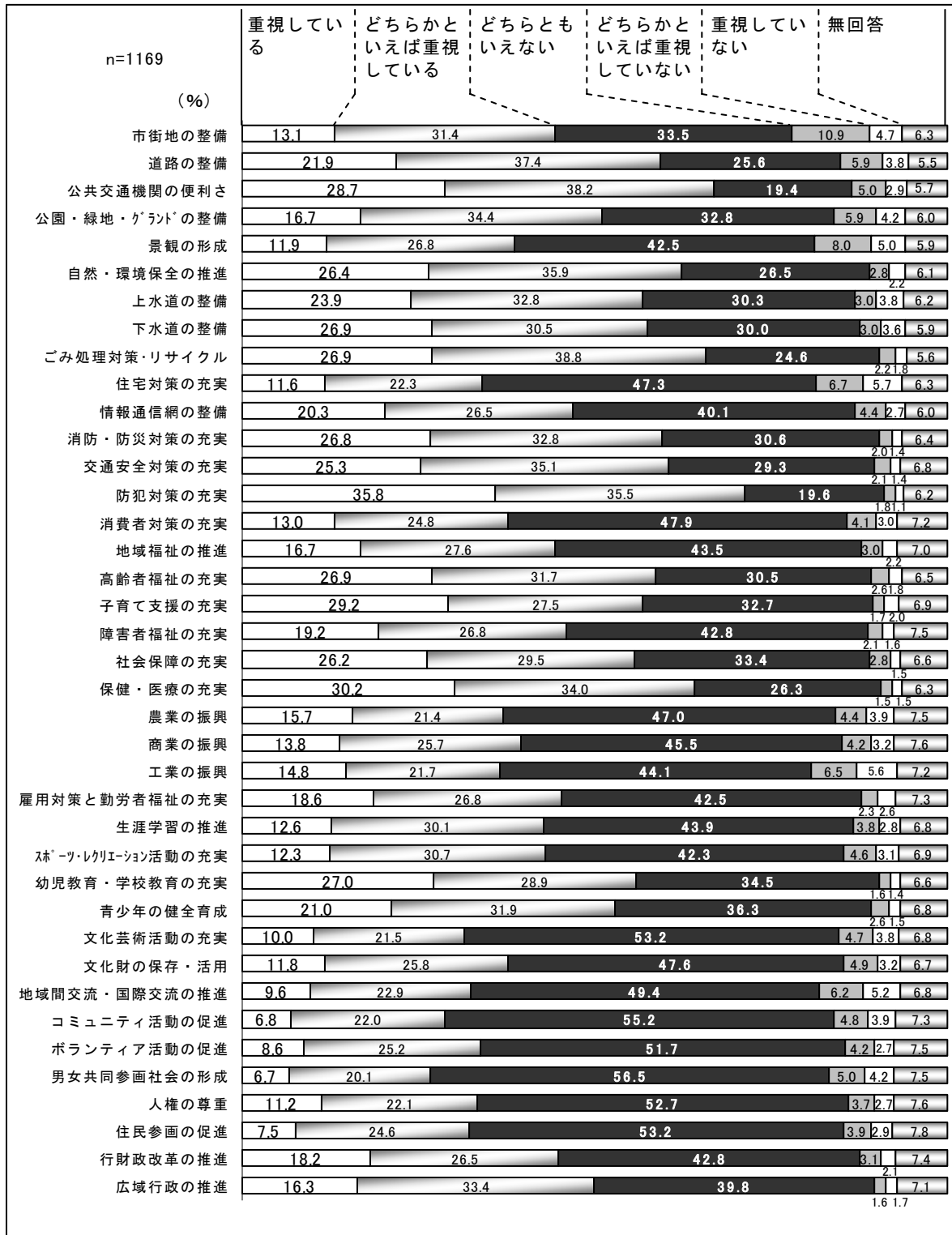
南部小学校区

重要度の上位3項目は第1位が「防犯対策の充実」(5.73点)、第2位が「保健・医療の充実」(5.28点)、第3位が「ごみ処理対策・リサイクル」(4.58点)の順となっている。

※評価点(加重平均値)の算出方法
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「どちらかといえば重視} \\ \text{している」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者} \\ \text{数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかといえば重視していない」の回答者数} \times - \\ 5 \text{点} + \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{点} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「重視している」、「どちらか} \\ \text{といえば重視している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば重視していない」、「重視し} \\ \text{ていない」の回答者数} \end{array} \right]}$$

図表 14 まちの各環境に対する重要度(全体/%)



図表 15 まちの各環境に対する重要度(全体/%)

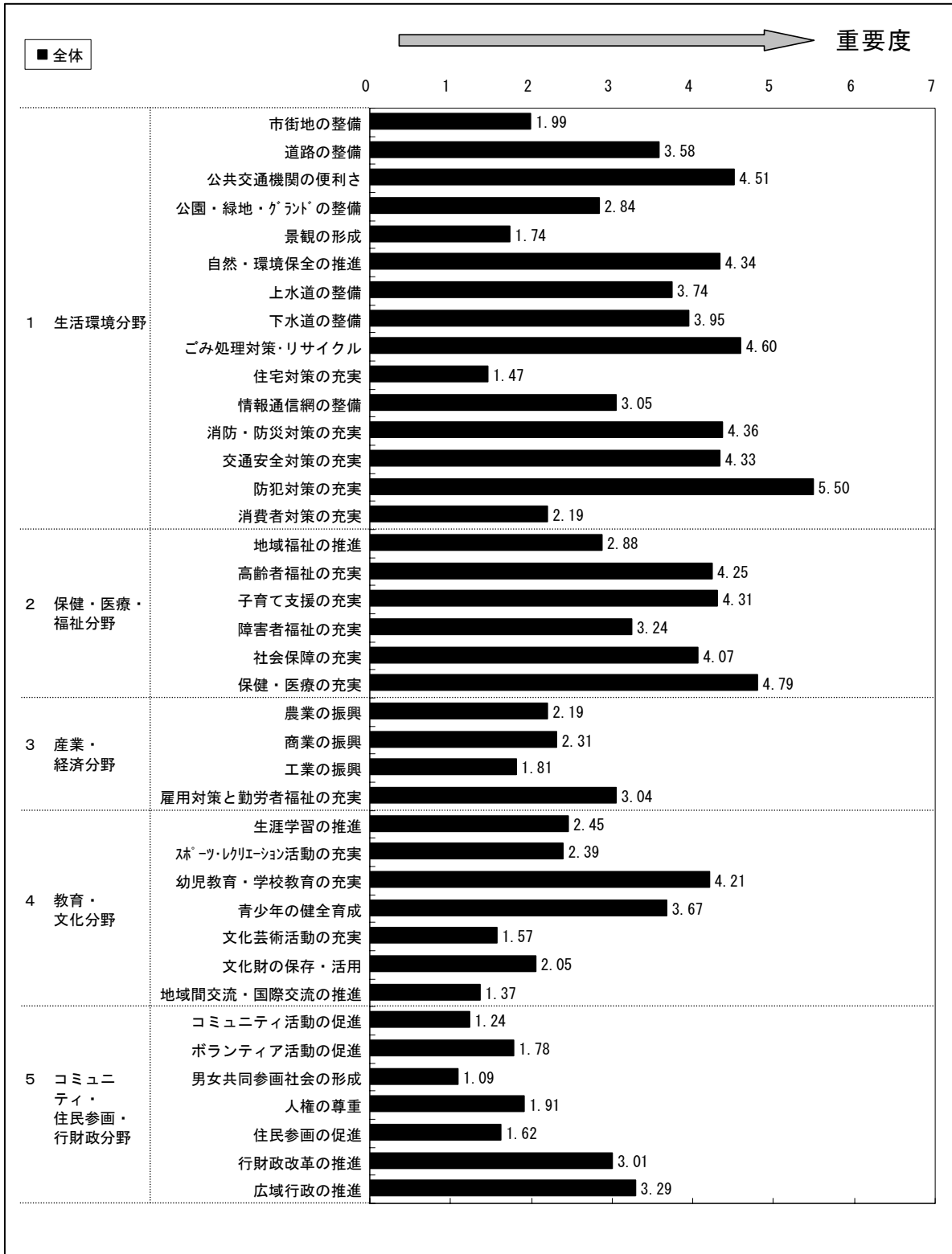
	“重要である”	どちらとも いえない	“重要でない”
(1) 市街地の整備	44.5	33.5	①15.6
(2) 道路の整備	59.3	25.6	9.7
(3) 公共交通機関の利便さ	②66.9	19.4	7.9
(4) 公園・緑地・グラウンドの整備	51.1	32.8	10.1
(5) 景観の形成	38.7	42.5	②13.0
(6) 自然・環境保全の推進	⑤62.3	26.5	5.0
(7) 上水道の整備	56.7	30.3	6.8
(8) 下水道の整備	57.4	30.0	6.6
(9) ごみ処理対策・リサイクル	③65.7	24.6	4.0
(10) 住宅対策の充実	33.9	47.3	③12.4
(11) 情報通信網の整備	46.8	40.1	7.1
(12) 消防・防災対策の充実	59.6	30.6	3.4
(13) 交通安全対策の充実	60.4	29.3	3.5
(14) 防犯対策の充実	①71.3	19.6	2.9
(15) 消費者対策の充実	37.8	47.9	7.1
(16) 地域福祉の推進	44.3	43.5	5.2
(17) 高齢者福祉の充実	58.6	30.5	4.4
(18) 子育て支援の充実	56.7	32.7	3.7
(19) 障害者福祉の充実	46.0	42.8	3.7
(20) 社会保障の充実	55.7	33.4	4.3
(21) 保健・医療の充実	④64.2	26.3	3.0
(22) 農業の振興	37.1	47.0	8.3
(23) 商業の振興	39.5	45.5	7.4
(24) 工業の振興	36.5	44.1	④12.1
(25) 雇用対策と勤労者福祉の充実	45.4	42.5	4.9
(26) 生涯学習の推進	42.7	43.9	6.6
(27) スポーツ・レクリエーション活動の充実	43.0	42.3	7.7
(28) 幼児教育・学校教育の充実	55.9	34.5	3.0
(29) 青少年の健全育成	52.9	36.3	4.1
(30) 文化芸術活動の充実	31.5	53.2	8.5
(31) 文化財の保存・活用	37.6	47.6	8.1
(32) 地域間交流・国際交流の推進	32.5	49.4	⑤11.4
(33) コミュニティ活動の促進	28.8	55.2	8.7
(34) ボランティア活動の促進	33.8	51.7	6.9
(35) 男女共同参画社会の形成	26.8	56.5	9.2
(36) 人権の尊重	33.3	52.7	6.4
(37) 住民参画の促進	32.1	53.2	6.8
(38) 行財政改革の推進	44.7	42.8	5.2
(39) 広域行政の推進	49.7	39.8	3.3

※丸数字は上位項目の順位。無回答は除く。

図表 16 まちの各環境に対する重要度(全体/評価点)

全体

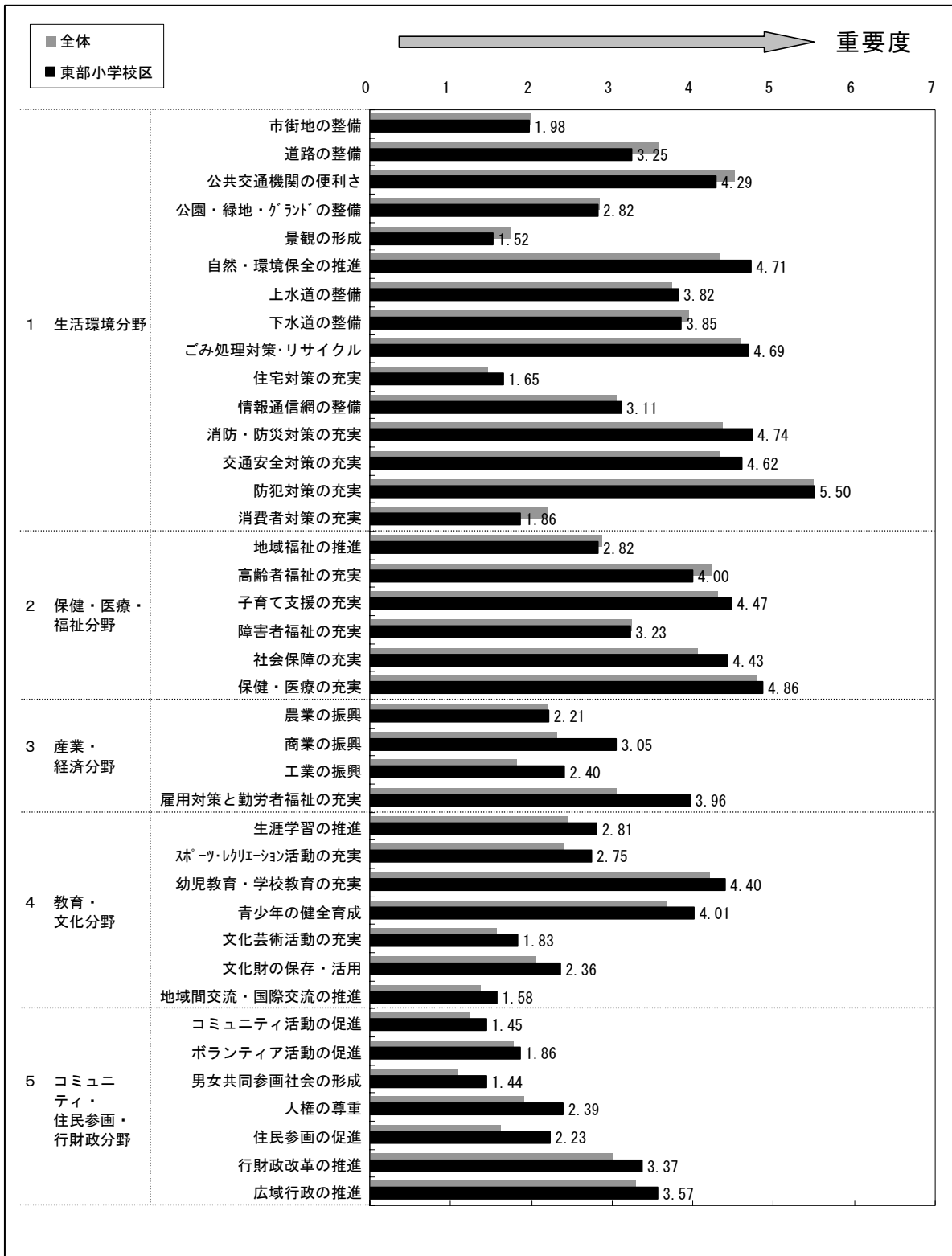
(単位：評価点)



図表 17 まちの各環境に対する重要度(東部小学校区/評価点)

東部小学校区

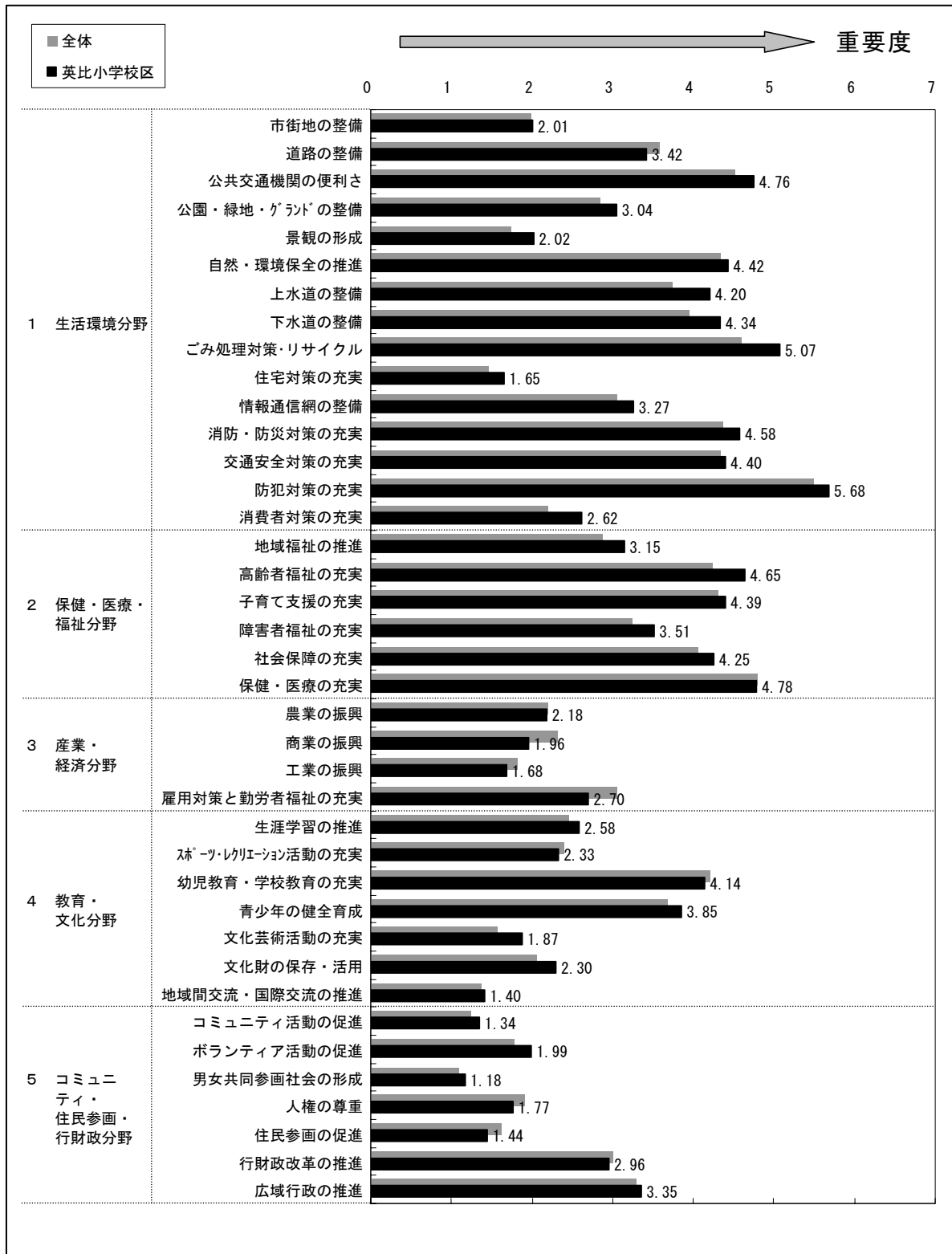
(単位：評価点)



図表 18 まちの各環境に対する重要度(英比小学校区/評価点)

英比小学校区

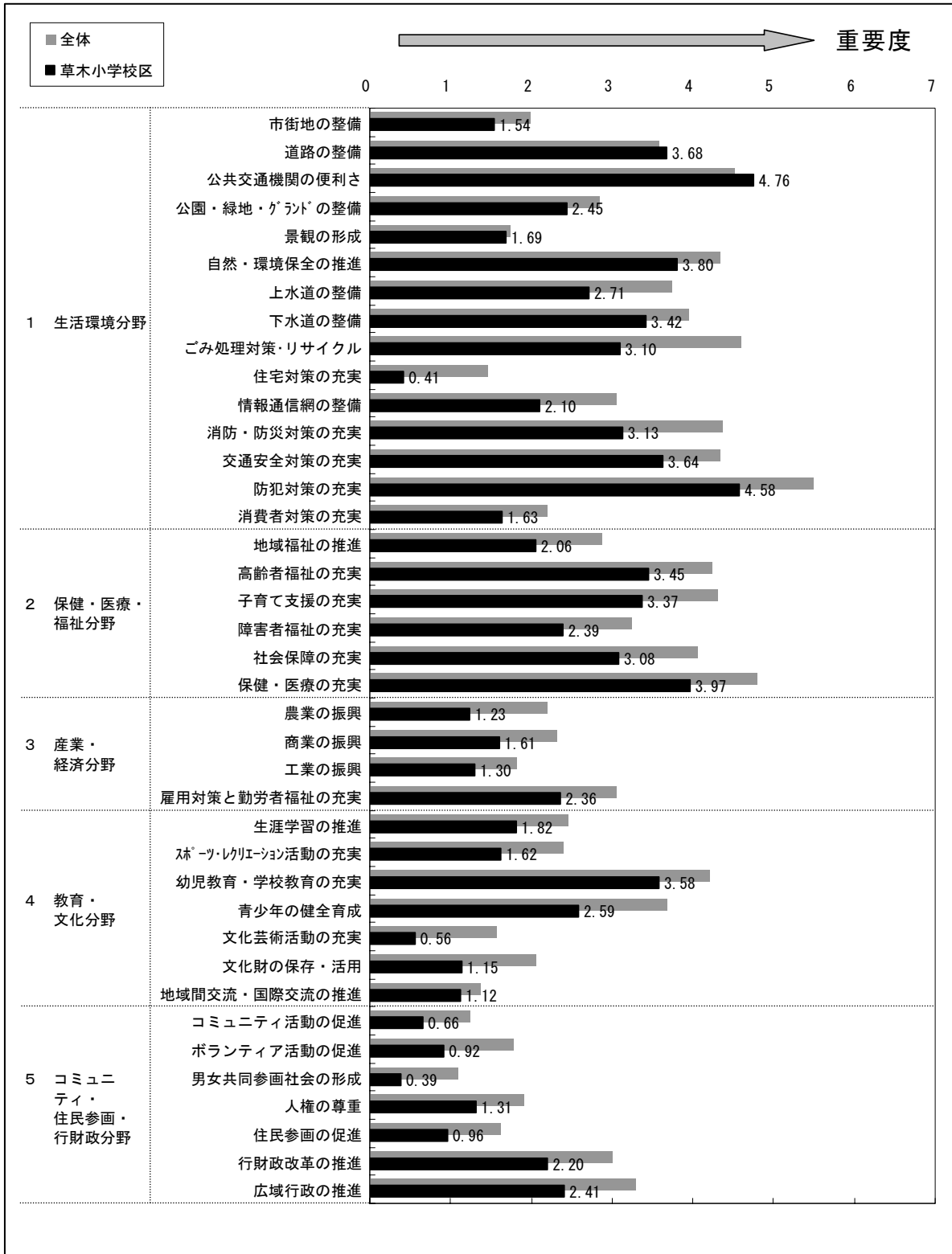
(単位：評価点)



図表 19 まちの各環境に対する重要度(草木小学校区／評価点)

草木小学校区

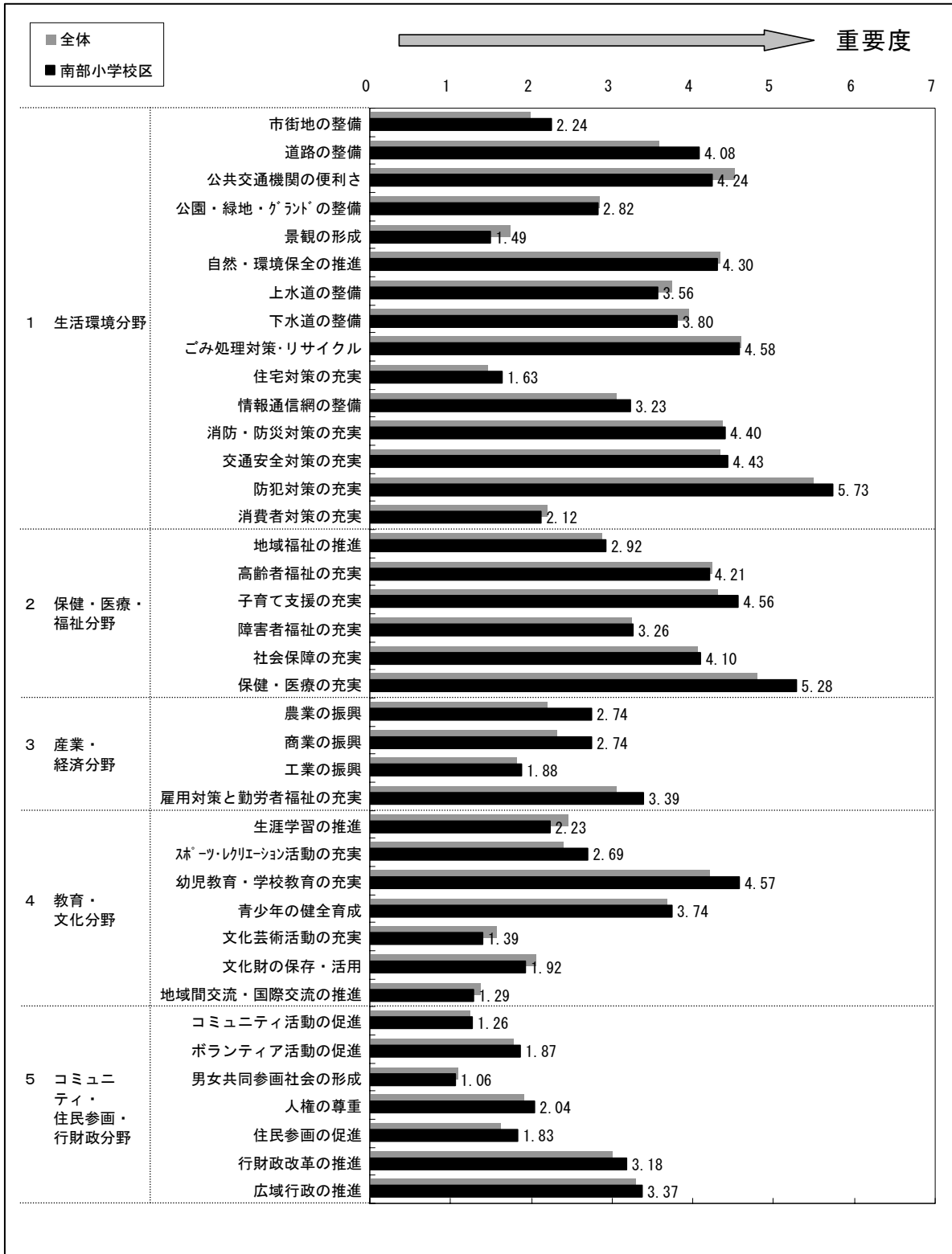
(単位：評価点)



図表 20 まちの各環境に対する重要度(南部小学校区/評価点)

南部小学校区

(単位：評価点)



(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

● 優先度の最も高い項目は「防犯対策の充実」。次いで「社会保障の充実」、「公共交通機関の便利さ」、「保健・医療の充実」「高齢者福祉の充実」の順。

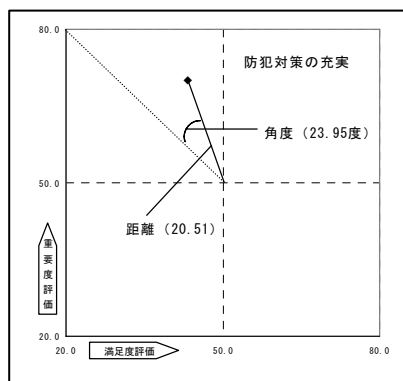
これまでみてきた満足度と重要度から、さらにまちの現状評価や行政ニーズを把握するため、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成した。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなる。この散布図からの数量化[下記参照]による分析で優先度(評価点:最高点 42.43点、中間点0点、最低点-42.43点)を算出した。

この結果をみると優先度は、「防犯対策の充実」(15.05点)が第1位となっており、次いで「社会保障の充実」(10.73点)、「公共交通機関の便利さ」(8.62点)が続き、以下、「保健・医療の充実」(7.27点)、「高齢者福祉の充実」(6.95点)の順となっている。[図表 21~22 参照]

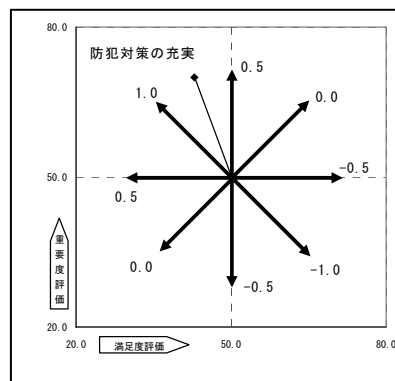
※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例:「防犯対策の充実」→満足度偏差値 42.63…、重要度偏差値 69.14…
- ② ①で算出した偏差値から平均(中心)からの距離を算出する。
例:「防犯対策の充実」→ $20.51\dots = \sqrt{(42.63-50)^2 + (69.14-50)^2}$
- ③ 平均(中心)から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均(中心)から各項目への線の角度を求める。
例:「防犯対策の充実」→23.95度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する(指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる。)
例:「防犯対策の充実」→ $0.7339 = (90-23.95) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均(中心)からの距離と③で算出された修正指数から優先度を算出する。
例:「防犯対策の充実」→ $15.05 = 20.50\dots \times 0.7339\dots$

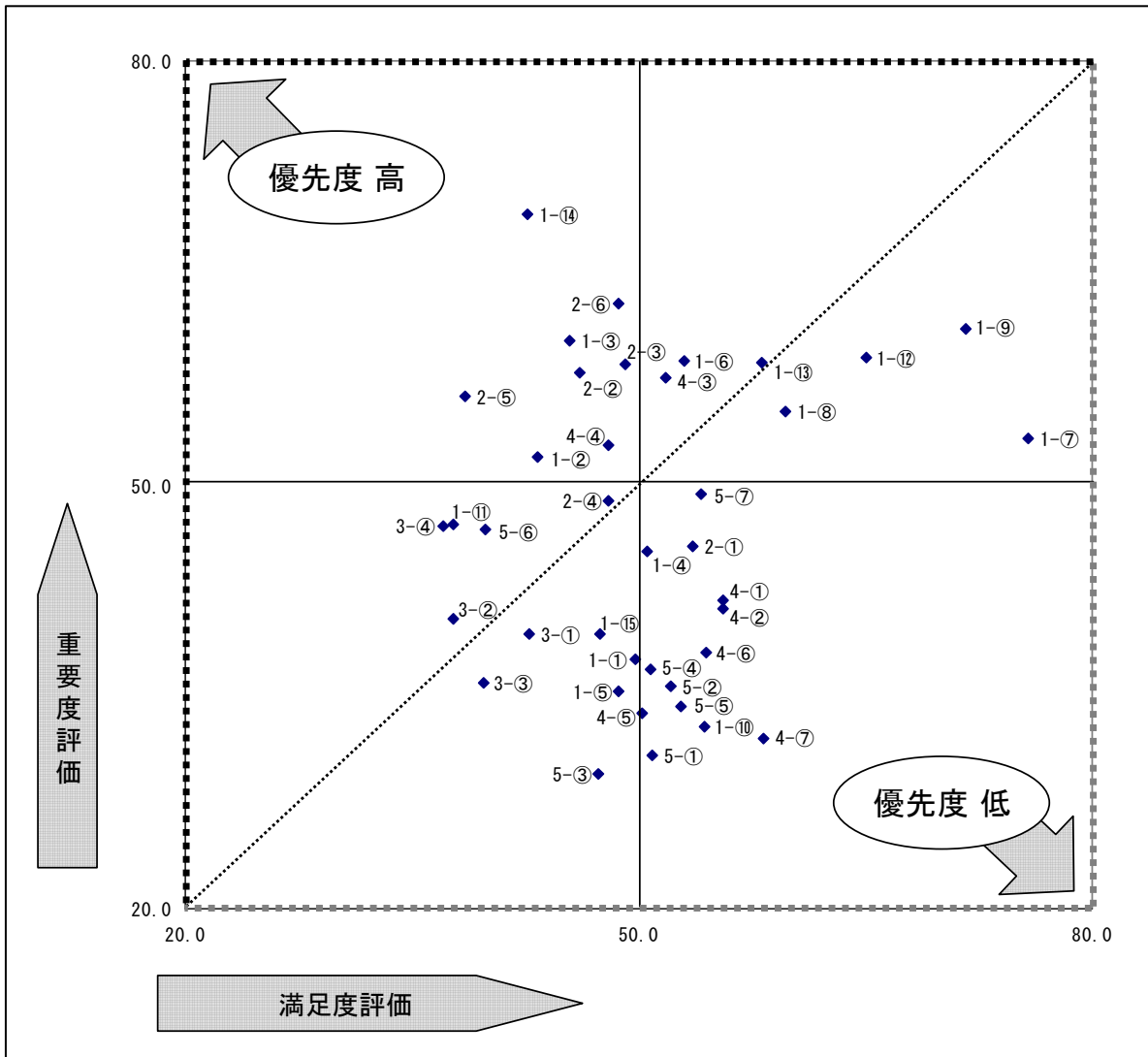
距離・角度



指数の設定



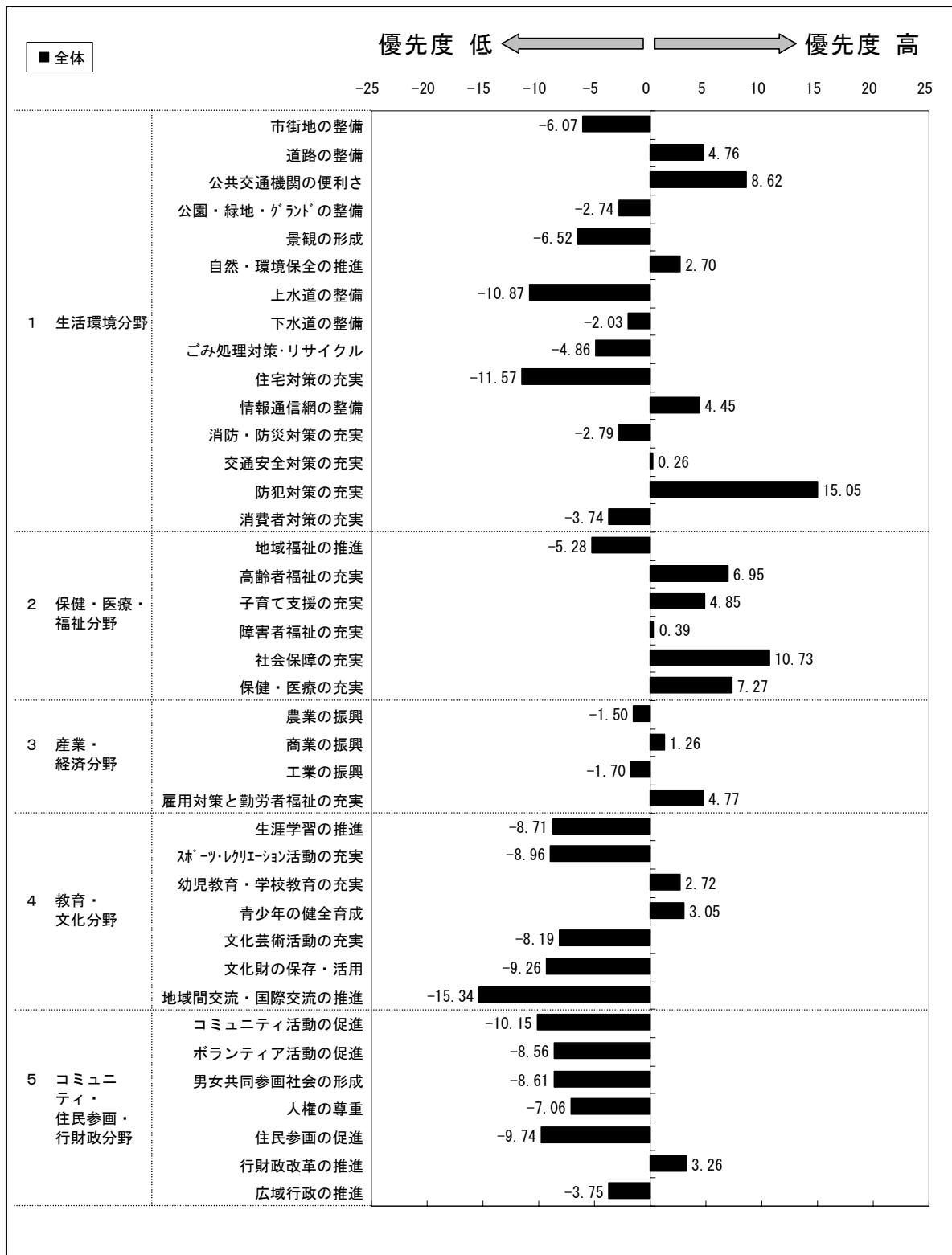
図表 21 満足度と重要度の相関（優先度）（満足度と重要度の相関、全体）



凡 例		
1-①市街地の整備	2-①地域福祉の推進	4-⑥文化財の保存・活用
1-②道路の整備	2-②高齢者福祉の充実	4-⑦地域間交流・国際交流の推進
1-③公共交通機関の利便さ	2-③子育て支援の充実	5-①コミュニティ活動の促進
1-④公園・緑地・グランドの整備	2-④障害者福祉の充実	5-②ボランティア活動の促進
1-⑤景観の形成	2-⑤社会保障の充実	5-③男女共同参画社会の形成
1-⑥自然・環境保全の推進	2-⑥保健・医療の充実	5-④人権の尊重
1-⑦上水道の整備	3-①農業の振興	5-⑤住民参画の促進
1-⑧下水道の整備	3-②商業の振興	5-⑥行財政改革の推進
1-⑨ごみ処理対策・リサイクル	3-③工業の振興	5-⑦広域行政の推進
1-⑩住宅対策の充実	3-④雇用対策と勤労者福祉の充実	
1-⑪情報通信網の整備	4-①生涯学習の推進	
1-⑫消防・防災対策の充実	4-②スポーツ・レクリエーション活動の充実	
1-⑬交通安全対策の充実	4-③幼児教育・学校教育の充実	
1-⑭防犯対策の充実	4-④青少年の健全育成	
1-⑮消費者対策の充実	4-⑤文化芸術活動の充実	

図表 22 満足度と重要度の相関（優先度）（全体）

（単位：評価点）



(4) 今後のまちづくりの特色

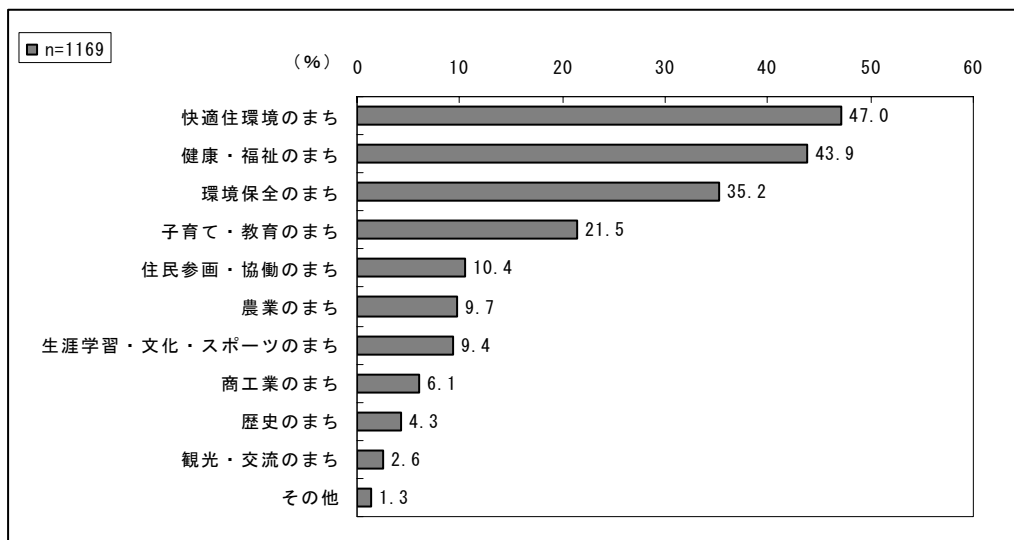
問5 あなたは、今後のまちづくりにおいて、阿久比町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

- 「快適住環境のまち」が第1位。次いで、「健康・福祉のまち」、「環境保全のまち」の順。

どのような特色のあるまちにすべきかについては、第1位が「快適住環境のまち」が47.0%で第1位に挙げられ、次いで、「健康・福祉のまち」(43.9%)、「環境保全のまち」(35.2%)が続き、以下、「子育て・教育のまち」(21.5%)、「住民参画・協働のまち」(10.4%)などの順となっており、住環境の充実を中心に、健康・保健・福祉分野、環境への関心が高いことがうかがえる。

年齢別でみると、20代～50代では「快適住環境のまち」が第1位に挙げられ、60代以上では「健康・福祉のまち」が第1位となっている。【図表23～24参照】

図表23 今後のまちづくりの特色（全体／複数回答）



図表 24 今後のまちづくりの特色（全体、年齢／複数回答）

（上位 3 項目、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		快適住環境のまち 47.0	健康・福祉のまち 43.9	環境保全のまち 35.2
年齢	20 代	快適住環境のまち 44.8	環境保全のまち 42.5	健康・福祉のまち 33.6
	30 代	快適住環境のまち 43.9	子育て・教育のまち 38.9	環境保全のまち 36.4
	40 代	快適住環境のまち 49.3	健康・福祉のまち 41.3	環境保全のまち 33.8
	50 代	快適住環境のまち 46.1	健康・福祉のまち 45.6	環境保全のまち 36.8
	60 代	健康・福祉のまち 49.8	快適住環境のまち 48.8	環境保全のまち 32.9
	70 歳以上	健康・福祉のまち 58.1	快適住環境のまち 50.0	環境保全のまち 32.4